

令和3年4月14日
健康福祉局

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和3年4月5日（月）～4月11日（日）（令和3年第14週）

	指標	数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	240人	173人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数/(153万人/10万人))	15.69人	11.31人	2.5人未満 (※1)
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数)	1.39	1.05	<1(※2)
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数/陽性者数)	53%	66%	50%未満 (※3)
(5)	直近1週間の陽性率(※4) (陽性者数/検査実施人数)	6.97%	6.47%	—
(6)	入院中の患者数(※5) (疑似症患者を含む)	86人	82人	感染症患者受入病床 326床
(7)	入院中の患者のうち重症者数(※5) (疑似症患者を含む)	9人	8人	重症病床 30床
(8)	全療養者数(※5)(入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計(疑似症患者は含まない))	329人	259人	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

※1 神奈川警戒アラート指標の基準を準用

※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用

※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)

※4 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

※5 4月11日(日)現在の報告数（前週分は、4月4日(日)現在の報告数）

2 評価

令和3年4月5日（月）～4月11日（日）（令和3年第14週）の川崎市内における新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況は、以下のとおりです。

(1) 新規陽性者数は、1月4日～1月10日（第1週）の1123人をピークとし、3月1日～3月7日（第9週）120人まで減少、その後第10週125人、第11週142人、第12週165人、第13週173人と4週連続して微増が続いていたものが、今週（第14週）は240人と増加幅が大きくなっています。

(2) 直近1週間の人口10万人あたりの累積新規陽性者数も、第1週の73.40人をピークとし、第9週7.84人まで減少しましたが、その後第10週8.17人、第11週9.28人、第12週10.78人、第13週11.31人と4週連続して微増が続いていたものが、今週（第14週）は15.69人と増加幅が大きくなっています。目安基準（神奈川警戒アラート）の2.5人未満を上回ったままとなっています。

(3) 週当たりの陽性者増加比も、第1週の2.08をピークに、第9週0.82まで減少しましたが、第10週1.04、第11週1.14、第12週1.16と微増、第13週は1.05とやや減少しましたが、今週（第14週）は1.39と大きな増加幅となっています。第10週から目安基準1以下を上回ったままとなっています。

(4) 直近1週間の感染経路不明者の割合は、第9週までは40%前後でしたが、第10週53%、第11週は55%と上昇、第12週は46%と一時低下しましたが、第13週は66%と再び増加し、今週（第14週）は53%と低下しましたが、目安基準50%未満を上回ったままとなっています。

(5) 直近1週間の検査陽性率は、第9週3.32%から、第10週3.66%、第11週4.17%、第12週4.79%、第13週6.47%、そして今週（第14週）は6.97%と6週間連続して微増が続いています。

(6) 入院中の患者数は、直近1週間の新規陽性者数のピーク（第1週）に2週遅れた1月18日～1月24日の週（第3週）182人をピークとして減少が始まり、第9週126人、第10週117人、第11週93人、第12週は76人と減少が続きましたが、第13週は82人とやや増加に転じ、今週（第14週）は86人と微増しています。

(7) 入院患者のうち重症者数は、第1週の31人をピークとしてその後減少し、第9週9人、第10週11人、第11週6人、第12週9人、第13週8人と、このところ10人前後を前後しており、今週（第14週）は9人でした。

(8) 全療養者数（入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計）は第3週の2901人をピークとして減少し、第9週202人、第10週190人まで減少しましたが、第11週は206人とやや増加し、第12週は197人と減少、第13週は259人と再び増加、今週（第14週）は329人と増加幅が大きくなっています。

(1) 全体の新規陽性者数、(2) 直近1週間の人口10万人あたりの累積新規陽性者数、(3) 週当たりの陽性者増加比、(5) 直近1週間の検査陽性率は、これまでの微増傾向から増加幅が大きくなっています。(4) 直近1週間の感染経路不明者の割合は、今週は低下していますが、目安基準50%未満を上回ったままとなっています。

(6) 入院中の患者数はやや増加、(7) 重症患者数には大きな変化はありませんでした

が、(8) 全療養者数は、今週（第 14 週）は増加幅が大きくなっています。

関東 1 都 3 県についての緊急事態宣言は 3 月 21 日をもって解除されましたが、その後陽性者数の増加傾向が続いています。大阪府・兵庫県・宮城県は陽性者数の急増から 4 月 5 日より「まん延防止等重点措置」が適用され、次いで東京都、京都府、沖縄県が 4 月 12 日より適用されました。

本市におきましては、これまでの陽性者の発生状況は、お正月明けの第 1 週をピークとして減少が続きましたが、第 10 週あたりから微増傾向が続き、今週（第 14 週）からその増加幅が大きくなっていることは警戒すべきところです。また、入院あるいは宿泊療養・自宅療養者に対する医療は、第 12 週までは落ち着きを取り戻しつつありましたが、第 13 週から (6) 入院中の患者数、(8) 全療養者数が増加に転じ、今週（第 14 週）では、全療養者数の増加幅が 259 人から 329 人と大きくなり、警戒が必要です。入院患者の受け入れと治療、その他の通常医療については、現在は落ち着いた状態で行なわれていますが、このまま陽性者数の増加が続くと、入院患者数・療養者数のさらなる増加が見られることとなります。関西方面では、感染者数の増加だけでなく、若年層の中～重症者の増加傾向が見られており、関東方面でも今後に向けて注意が必要です。本市では患者数増加に備えてさらなる病床や宿泊療養施設の確保を図っておりますが、なんとか陽性者の急増は避けたいところです。

市民の方々のご理解とご協力によって、市内の状況は少し安心して頂けるところまできましたが、このところ陽性者数や入院・施設療養者数などが微増から増加幅が大きくなってきたことに対して、十分注意して下さるようお願いいたします。人の動き（人流）の増加と感染症の増加はつきものです。どちらかへお出かけになる時には、感染リスクの高い所や混雑する場所・時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数でゆっくりと過ごされますようお願いいたします。三密を避ける、適切な距離が保てないなどの時はマスクをつける、換気に気をつける、手洗い・手指の消毒をこまめにするなどは、飲食の場あるいは日常生活において、感染の拡大を予防するための基本的なかつ重要な注意点です。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

本市においても、高齢者の方々への新型コロナワクチンの接種がスタートしました。目下のところは限られたワクチン数ですが、徐々に増加してくるの見込まれているところですが、多くの方々へのワクチン接種と、新型コロナ陽性者数や入院や施設療養者数の急増のタイミングが一致してしまうと、医療のみならずワクチン接種にも影響が及んでしまいます。スムーズで安全なワクチン接種の点からも、少しでも陽性者数が増加しないようご協力をお願いいたします。